



高槻ロータリークラブ

2021~2022

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階  
 TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174  
 URL <http://www.takatsukirc.org/>  
 E-mail [takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp](mailto:takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp)

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 (9/29 は 12:30~13:15)  
 例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 羽根田茂子 幹事 河合一人 クラブ運営委員長 浦中郁文 会報担当副委員長 浜田哲也

No.11 2021年9月29日 発行

9月は基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

第 3246 回 本日 (9/29) の例会

- ◎ ソング・・・それでこそロータリー
- ◎ 卓話 浜田 厚男君  
「 インターアクト年次大会について 」

第 3247 回 次週 (10/6) の例会

ガバナー補佐訪問

- ◎ 国歌・・・君が代
- ◎ ソング・・・奉仕の理想
- ◎ 誕生、結婚、入会記念月御祝
- ◎ 創業記念月御祝
- ◎ 卓話 拝郷 淳弘君  
「 私の履歴書 」
- ◎ 例会後の行事  
クラブアッセンブリー

◎出席報告

・第2回定例理事会の決議により、緊急事態宣言等の発令期間中は、例会への出席義務を免除としております。これは、感染拡大防止の観点から不要不急の外出の自粛要請及び会員の健康安全の措置として補足するものです。従って、9/15(水)例会出席率は100%となります。

会員数	出席者数	出席率
50 名	40 名	100 %
前々回例会補正後出席率	100 %	
但し、Mup 0 名	欠席者 0 名	
出席規定適用免除有資格者	2 名	

先々週 (9/15) の例会から

◎ゲスト・ビジター 計 0 名

◎会長の時間

この頃、新聞テレビは総裁選のニュースでもちきりです。

3人の候補者の中で唯一女性の高市前総務大臣が選択的夫婦別姓について断固反対論者で過去に雑誌の「クタブレ夫婦別姓」と題した対談に参加しておりこの対談に私も身近な問題として興味を持って読んでことを記憶しております。

一方、立憲民主党の枝野代表は13日に次期衆議院議員選挙の公約の第1項に選択的夫婦別姓の実施を盛り込みました。

この問題を国民はどのようにとらえているのでしょうか？

全国の60歳未満の成人男子7千人を対象にした選択的夫婦別姓制度について、賛成が7割になったという調査結果が発表されるとテレビで報道していました。夫婦は同性であるべきと考えている人が14パーセントにとどまったとは少し驚きを覚えました。時代の流れが変わった感じがします。

自分は夫婦同性がよいが他の人は名前を変えないで結婚するのは自由だと思う人は35.9パーセント、自分も他の夫婦も別姓がよいが34.7パーセント、自分も他の夫婦も同性であるべきは14.4パーセント。夫婦同性に賛成する人は14.4パーセントであることが報じられました。

これに関して当時の加藤官房長官は、記者会見で報道は承知していると述べたうえで政府として今後の対応について様々な調査を含め、国民各層の意見、国会の議論の動向などを注視しながら検討する姿勢は変わらない

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

シェカール・メータ RI会長

いと述べています。

総選挙が終わりましたら、国会で選択的夫婦別姓をめぐる議論が活発になってくると思われます。

平成 29 年の世論調査では夫婦は同姓を名乗るという考え方が 53.7 パーセント、別姓導入賛成が 42.9 パーセントであったことを考えますと時代は夫婦別姓の流れにあるといえるでしょう。

そこで、夫婦別姓についての様々な意見を挙げてみました。

- 1、子供と親と性が異なり子供に良い影響を与えない。
- 2、家族は社会の基礎単位である。夫婦別姓となるとファミリーネームの廃止となり、家族意識が薄くなり離婚や少子化が進む
- 3、婚姻後に仕事を続ける女性が大半になっていることを背景に、女性が仕事を続ける支障になっている。
- 4、一人っ子女子家族の実家の性が途絶える懸念。

この制度が導入されますと性は家族ではなく個人を表すものとなります。

日本の古き良き家族が崩壊している今、この制度の導入はもっと慎重に議論すべきだと思います。が一方、家族の名字が違ってても家族の一体感、絆に影響はないという人が半数以上 7 割になったと伝えております。

現在夫婦別姓を認めないのは民法の規定によるもので最高裁も合意としております。

しかしながら夫婦同姓を義務付けているのは日本のみで国連から改正するように勧告を受けています。時代の流れでしょうか？

## ◎幹事報告

・ガバナー事務所より「IM 第 5 組ガバナー補佐交代のお知らせ」が届いております。IM 第 5 組のガバナー補佐、大阪うつぼ RC の東村 高良様が体調不良により 9 月 10 日付で辞任され、後任に大阪リバーサイド RC の柿本 円様が就任されましたのでご連絡申し上げます。

## ◎9/15 卓上花

・本日はございません。

## ◎委員会報告

### ○クラブ研修委員会

小阪 大輔

・今月は「基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間」です。ロータリーの友 9 月号の推奨記事として、横書きの記事からは、P.4「RI 会長メッセージ」、P.22「新しいロータリー財団資金モデルの手引き」、P.32「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」、P.37「ガイ散策③」をご紹介します。縦書きの記事からは、P.4「社会力育てが人類社会を救う」をご紹介します。お時間のある時に、ぜひ読んでいただければと思います。

## ○青少年奉仕委員会

浜田 厚男

・IAC の年次大会が 10/31(日)に開催されます。残念ながら今年もオンラインでの開催となります。今回は高槻中学高等学校が幹事校となっており、当クラブがホストクラブですので、多数の皆様のご参加宜しくお願致します。

【日 程】2021 年 10 月 31 日(日)9:30~12:45

(15 分前から入室可能)

【開催方法】Zoom ウェビナー開催

\*アクセス方法は後日連絡致します。

【登 録 料】無料

【大会テーマ】マイノリティを考える

~薬害から見た支援のカタチ~

## ○国際奉仕委員会

光本 智輝

・今年度の国際大会は 2022 年 6 月 4 日(土)~8 日(水)の日程でアメリカヒューストンにて開催されます。また、6 月 4 日(土)の夕刻現地レストランにて「第 2660 地区大阪地区ナイト」の開催を予定しております。回覧を回しますので、国際大会と併せて大阪地区ナイトには是非ご参加下さいませようお願い致します。

【日 程】国際大会

2022 年 6 月 4 日(土)~8 日(水)

大阪地区ナイト

2022 年 6 月 4 日(土)夕刻を予定

【登 録 料】2021 年 12 月 15 日まで早期割引 475 ドル

【登録方法】マイロータリーからご自身でご登録して下さい。

## ◎卓話

「私の履歴書」

三井 泰之

### ◆はじめに

高槻市会議員の三井泰之でございます。本日は、貴重なお時間を頂戴しまして、私の履歴書について卓話をさせていただきます。

還暦が過ぎ、2 廻り目に入った 61 年間の人生ですが、東大阪市内などの学校に通い、大学受験に失敗して、初めての挫折を経験した浪人時代、人生の方向が明確になった大学生時代、大学卒業後は、信託銀行に 31 年 6 ヶ月勤務。入社した昭和 58 年当時は、ジャパンアズナンバーワンと言われ日本経済の絶頂期でしたが、以後、バブルの崩壊、プラザ合意後の円高の進行による景気の減速、リーマンショックの発生、現在も継続している低成長とデフレ。その間、銀行業界では、生き残りをかけ、統廃合など再編が一気に進み、入社時に、25 行あった大手銀行の都市銀行、信託銀行、長期信用銀行は、10 行に統廃合されるなど再編が加速しました。

私の職場も、東洋信託銀行から、UFJ 信託銀行、三菱 UFJ 信託銀行に変わり、15 回の転勤で、さまざまな業務や部署を経験、さらに、転居により、大阪と首都圏を 4 往復し、また、高松や静岡といった地方も経験しました。このように、時代の変化に翻弄された人生でしたが、日々、歩みを止めず、忍耐強く努力すれば、必ず道は拓けるとの確信を得たこと、また、たくさんの人と出会い、知己を得たこと、病気をせず健康であったことは、大きな財産です。また、これまで、辛抱強く、支えてくれた家族に感謝しています。

◆それでは、まず自己紹介です。

昭和 34 年 12 月 5 日に東大阪市の前身の河内市に生まれ、現在 61 歳。松が丘で妻と二人暮らしですが、二人の娘がおり、二人とも結婚して高槻に住んでおり、長女には子どもが一人おります。

娘たちは、転勤に伴い、小学校は、枚方、横浜、高槻の 3 校に通うなど大変苦勞をかけたのですが、平成 13 年に

高槻市へ転居してからは、転居を伴う転勤の際は、単身赴任を義務づけられています。

趣味は読書ですが、JR 高槻駅周辺には大きな書店がたくさんありますので、書店をハシゴすることで歩く距離を稼いで、健康管理にも役立っています。

座右の銘は、「人生に無駄はない」、性格は、自が己分析ですが、マーペースで熱しやすく冷めやすいと思っています。

◆次に、小学校から浪人時代についてです。

小学生時代は、2人兄弟の弟と近所の異年齢の仲間たちと、近所の空き地で野球に明け暮れるなど、机に向かうよりもアウトドア派でした。

親に諭され、そろばん塾、書道へ通いましたが、特に、そろばんについては、銀行に入社した当時は、そろばんを使っていたので役に立ち、また、暗算が得意でしたので、麻雀やゴルフの集計する時に重宝がられました。

中学生時代は、さまざま友人と付き合い横道にそれかけたこともありましたが、友人や学校の先生に恵まれ、3年間、無難に過ごすことができました。

また、小学校では、児童会の選挙、中学校では、生徒会の選挙に立候補しましたが、いずれも落選しました。現在、高槻市議員に2回当選し、リベンジができたと思っております。

高校生時代は、大阪市内の高校に通いましたが、目標もなく無為に過ごし、大学受験に失敗し初めて挫折を経験しました。

浪人中は、YMCA 高槻予備校で1年間お世話になりましたが、これが、高槻との初めてのご縁でした。その年は、共通一次試験という新しい入試制度が始まり、試験科目が、5教科7科目に増え受験勉強はハードでしたが、人生の中で一番机に向かった時期でした。その結果、志望した大阪市立大学商学部合格することができました。現在、予備校があった場所は、大阪医大の所有になっていますが、建物が残っており、近くを通ると、その当時は懐かしく思い出します。

大阪市立大学は、1949年に大阪商科大学と大阪市立都島工業専門学校、大阪市立女子専門学校を統合して、新制の大阪市立大学として設立しましたが、父は、前身の大阪市立都島専門学校を卒業しており、父と同窓になれたことに誇りを感じています。ただ、来年から、大阪府大と統合し、大阪公立大に名称が変わるので、大変残念です。

◆次に、大学時代についてです。

受験勉強に打ち込んだ反動から、大学生活では、アルバイト、クラブ活動での登山、国内外の旅、また、酒、麻雀の付き合いなどに、4年間明け暮れました。ただ、今では、もう少し勉強をしておけばよかったと後悔しています。

学生時代、特に熱中したのは登山でした。特に、雄大で奥深い3000m級の山々が連なり、富士山を近くに見ながら登山ができる南アルプスへよく行きました。(日本には3000mを超える山は、21山ありますが、そのうち9山が南アルプスにあります)。特に、クラブ活動では経験できなかった、日本3大急登の一つである黒戸尾根や、塩見岳から荒川三山、赤石岳、聖岳に至る1000m以上のアップダウンを繰り返す縦走コースは、体力的に大変苦しい登山でしたが、印象に残っています。

また、登山がきっかけで、新田次郎などの山岳小説を読破するなど、読書が、趣味の一つに加わりました。

今では、登山には行かなくなりましたが、大学時代のクラブ仲間からの呼びかけで、京都一周トレイルというハイキングコースに、年2回参加しています。特に、終了後、銭湯に入り、酒を飲みながら学生時代の思い出を語り合うことが、楽しみです。現在、コロナで中断して

います。

また、バックパッカーに憧れ、1ヶ月間のヨーロッパへの卒業旅行で実現できました。卒業旅行は、初日がロンドン、最終日がパリ、以外は、すべて自分の思い通りにプランニングできるスケジュールでした。その中で、中世の趣を残した、スペイン、ポルトガル、イタリア、オーストリア、スイス、ドイツの街並み、ルーブルをはじめとする美術館、ゴシック建築の壮大な教会など、今でも脳裏に焼き付いています。

当時は、円が強く、海外旅行用の6カ国語会話の本1冊を片手に、宿泊、食事なども満足な旅ができ、学生時代最後の思い出となりました。

◆ゼミと就職活動について触れておきます

ゼミは、金融論のゼミを選択し、その中で、スタフレーションという現象に興味を持ち、卒論テーマも、スタグフレーションとしました。

スタグフレーションとは、不況にもかかわらず物価が上昇する現象のことですが、当時、アメリカのレーガン大統領や、英国のサッチャー首相など、スタグフレーションを解決するため、ケインズ主義の大きな政府から、減税、規制緩和、福祉予算の削減など小さな政府へ転換する新自由主義が台頭し始めた時期でした。

そのような背景から、民間企業の将来性、特に、その基盤を支える金融業界に興味を持ち、仕事に携わりたいとの思いが募りました。特に、就職活動の中で、多岐・多様にわたる業務を展開し、信託のスキームを使い、新たな業務の展開も期待できる信託銀行に興味を持ち、最終的に東洋信託銀行に入社を決めました。

その理由として、母体が、三和・神戸銀行と野村證券で、証券業務に強みがあり、財閥系ではなく自由な気風に好感を持ったこと、また、会社訪問の際、OBがよく勉強されており、誠実な人柄が決め手となりました。ただ、就職活動にあたり、ゼミ教授からは、成績が悪いので銀行は無理といわれていたことや、当時は、買い手市場で、就職解禁日が10月1日で内々定をもらっている唯一の会社であったこともあり、縁を感じて入社を決めたのが本音です。

◆信託銀行について

信託銀行は、普通銀行が、預金や貸付などの銀行業を行なうのに対して、信託銀行は銀行業務に加えて、信託業務(信託とは個人や法人が持つ財産を信託の設定により信託銀行が受託してその財産を管理運用することで、有価証券、不動産、金銭債権など財産的な価値があるものなら何でも信託することができます)、と併せて信託銀行のみに認められている併營業務(遺言書の保管や遺言執行業務などの相続関連業務、企業の株主名簿の管理をする業務などの証券代行業務、不動産の売買の仲介など)などがあり、業務内容が幅広いのが特徴です。

◆入社後、難波支店から証券代行部へ異動

入社後は、難波支店に配属されリテール事務・営業を担当しました。金融自由化が始まったころで、資金吸収(今はなくなりましたが、当時の貸付信託ビッグの5年物は、10年間で元本が2倍になるほど金利が高く人気がありました)より、ローン、不動産、証券などに力を入れ始めた時期でした。リテール営業では、ローンや不動産の仲介、証券の販売など、成績も順調で、支店の業績優秀者として表彰されました。

また、当時支店では、社内結婚が多く、妻は難波支店で知り合いました。

4年間在籍したあと、証券代行部へ異動となり、初めて両親のもとを離れて、千葉県市川市にある独身寮の生活となりました。

証券代行業務というのは、上場企業は株式事務の円滑化を図るため株式代行機関の設置が義務づけられており、株式事務の委託を受けた会社が行っている業務をいい、

株式事務とは、主に、株主名簿の作成・管理、配当金の支払・管理のことです。当時は、株券が流通していましたので、決算が集中する3月末には、配当金などの権利確定のため、膨大な株券に囲まれて工場のような環境で仕事をしていました。

株主事務を半年経験したあと、アメリカの大学のロースクールに留学する担当者の後任として企画グループに配置されました。

証券代行業務は、業界トップを自負しており、その中枢である企画グループは、(会社法務、事務統括、外国株などの業務を担当していました)、少数精鋭で、会社法務、外国語に精通したプロフェッショナル人材がそろっており、証券代行の業務や、会社法など法律の知識、英語力の乏しい私自身には、全く歯が立ちませんでした。

上司からは、専門知識の理解が不十分でミスをした場合には、厳しく指導され、学生気分から抜け出せなかった自分自身に、仕事に対するプロ意識や矜持を植え付けてもらいました。

その後、法学部の大学院を出た後任が配置され、保管振替制度のシステム対応の部署に配置換えになりましたが、人事面接の機会に、法人営業への異動を申し出たところ、運良く池袋支店に異動になりました。

#### ◆法人営業へ

池袋支店では、法人営業と年金業務の担当となりましたが、初めての業務で不安だらけでした。しかしながら、希望した異動であり、断じてやり抜くと決意し、貸出など法人営業については、上司から教わり、年金業務については、顧客対応に不手際がないよう、制度、運用、営業など各業務に精通した本部の担当者と連携し、業務を進める中でスキルアップを図りました。毎日、夜遅くまで働きましたが、その努力が報われて、個人業績で優秀者として表彰を受けるまでになり、同期では半年遅れでしたが、初めての管理職に昇格しました。

業務を通じて、仕事は、決してひとりでは成し遂げられないこと、仕事の質を向上させ、顧客の満足度を高めるには、専門性の高い人を巻き込んで進めることが重要であることを経験しました。

その後、三和銀行へ研修派遣、研修明けには、大阪の2支店で、引き続き法人営業と年金業務を担当し、3度の業績優秀者の表彰を受けるなど、支店の業績向上に貢献したことが評価され、平成9年に、同期入社の中で法人営業課長に昇格することができました。

その1年後には、本店営業部第1部2課の課長として転動になりました。担当業種は、石油、化学、鉄鋼、非鉄などの素材が中心で、取引先は、一部上場企業とそのグループ企業で、親密先が多い部署でした。

当時は、バブル崩壊後で、企業のバランスシートは膨張しており、マーケットからの評価を得るため格付を意識した、不動産、売掛債権など資産のオフバランス提案や、財務サイドからの年金受託先管理や退職給付信託の受託などに注力しました。

また、部長の補佐として、日銀考査、大蔵省検査での資産査定において、直接やりとりするなど、貴重な経験ができました。

ゴルフや夜の酒の場が多く、また、その際、社長や担当役員が入るケースも多々あり、社内のご新構で気を遣うことが多かったです。

#### ◆法人営業から不動産業務へ

バブルの後遺症の影響や金融自由化の進展などから、銀行業界には、再編の浪が押し寄せてきました。従来の貸出、資金業務だけで十分な収益が確保できず、単独では行き残れない時代になり、平成14年1月には、三和銀行、東海銀行とUFJグループを形成することになります。UFJグループのメイン戦略のひとつとして、銀行の顧客

基盤から、リテールでは相続関連業務、法人では、証券代行業務、年金業務、不動産業務などの信託業務に結びつけることができました。

私は、不動産業務を担うことになり、新設された大阪不動産業務部へ異動となりました。人員構成は、銀行や系列不動産会社からも加わり混成部隊でしたが、信託銀行からは、不動産業務より、バランスシート提案できる人材が必要とのことで選ばれたようです。

不動産業務は、顧客の意向が第一ですが、個別性が強く、特性に応じた、売買、賃貸、有効活用、オフバランスなど提案が求められます。宅地取引主任者免許は取得していましたが、不動産業務は初めての経験であり、メンバーは若くても知識やスキルが高い人材が多く、年長のプライドを捨て、教を請いながら3年半在籍し、業務の筋道をつけたところで、平成17年5月に神戸支店の法人担当の副支店長で異動となりました。

#### ◆神戸支店へ異動し、法人営業に復帰

その年の10月に三菱信託銀行との合併が予定されていたことから、その含みの異動だったと思えます。

神戸支店は、母体の旧神戸銀行との関わりが強く、親密で重要な取引先が多い部署でした。合併後には、拠点集約が予想されことから、取引との関係を堅持するには、業績表彰で、存在感を示すことが重要と考え、全力で取り組みました。

これまで、経験した法人、年金、不動産での営業経験を生かすことができ、ほとんど毎期、業績表彰を受け、最後の1年間はすべての項目で表彰されるなど、有終の美を飾ることができました。また、最終的には、法人営業部署を大阪支店へ集約することになり、スムーズに完了することができました。

#### ◆監査部から2支店で支店長を経験し退職

人事異動では部店長への昇格を期待しましたが、全く予想外の監査部へ異動となりました。

監査業務は初めて、しかも、単身赴任ということで落胆しましたが、気持ちを切り替え取り組みました。

担当は不動産と証券代行の業務監査の統括マネージャーでしたが、担当業務の経験はあるものの、監査理論や手法については知識や経験がないため、スキルの高いメンバーに教を請い、さらに、多くの監査現場に入り、監査品質の向上に努めました。さらに、新たな手法を取り入れるなど斬新で効果的な業務監査を行なう中で、定年まで覚悟していた監査部を、2年で卒業し、念願の支店長になることができました。

支店長は、高松と静岡の2支店で、それぞれ約2年経験。両支店とも、業績や内部事務などの課題がありましたが、支店長として自ら毎日の朝礼で明確な方針を示すこと、夕方には、全職員の顔を見て声掛けをすること、遅くとも6時には退社することを日課として継続することで、課題は徐々に解決していきました。

地方の支店でしたので、他業界の部店長とは、同じ単身赴任仲間ということで交流(酒とゴルフ)を持つことができ、今までにない刺激を受けることが出来ました。

3年前に、高松で、当時のメンバーとの懇親会に参加し再会しましたが、その多くが、一部上場企業の社長をはじめボードメンバーなどで活躍しており、今でも交流が続いている人もいます。

その後、関連会社への出向を命じられましたが、平成27年4月行われる高槻市議会議員への立候補を決意し、平成26年9月に退職しました。

以上のように、信託銀行在籍中に、証券代行業務、会社法務、システム(保管振替制度対応)、年金営業、不動産など信託銀行特有の業務や、リテール営業、法人営業、監査など、さまざまな業務経験を積むことができたことが、現在の議員活動に役立っています。

◆結び

これまでの人生で学んだことをお話して終わりたいと思います。

仏教の心地観経には「過去の因を知らんと欲せば其の現在の果をみよ、未来の果を知らんと欲せば其の現在の因をみよ」と説かれています。

これは、今、現在のこの瞬間に、過去の因と未来の果が備わっていることを表しています（これを因果具時といいます）。したがって、今が大事であり、自分の将来を知りたいのであれば、今、行っている原因を見れば分かるということです。したがって、自分自身が日々、未来の結果の原因を積んでいることになるため、より充実した人生を目指すには、今日1日はもとより1分、1秒とも、おろそかにすることはできないということです。

これまで、将来を見据えて、慢心、油断を排し、日々、たゆまぬ挑戦と努力で、結果につながり、道が開けることを体験しましたが、その都度、「人生には無駄がない」ことを実感しています。

結びに、7月にご縁があって入会させていただいた高槻ロータリーでも、1回、1回の例会を大切に、ロータリー精神を体現できるよう、しっかり取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしく願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

◎ニコニコ箱報告

- ・誕生記念内祝 光本君
- ・創業記念内祝 松下君
- ・皆出席内祝 石田君、河合君、清水君（皆出席表彰をいただいて！）

本日の合計	¥	25,000-
7/1 よりの累計	¥	410,000-

◎R 財団への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	250,000-
〔 年次基金会員より	¥	250,000-
ポリオプラス会員より	¥	0-
一人当たり平均	\$	47.92

◎米山奨学会への寄付

松下 浩章君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	202,500-
〔 会員より	¥	85,000-
クラブより	¥	117,500-
一人当たり平均	¥	4,309

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	50,000-

